

石井大道先生のご訃報に接して

岐阜大学工学部 竹内豊英

フローインジェクション分析研究懇談会参与であります石井大道先生には、本年2月より病氣療養中のところ、4月16日に逝去なさいました。石井大道先生は1926年、愛知県一宮市にお生まれになりました。1950年名古屋大学工学部金属学科を卒業され、同年名古屋大学工学部工業分析化学講座の助手となられ、石丸三郎教授、平野四蔵教授、宗宮尚行教授、武内次夫教授に師事なされ、鉄鋼材料の迅速化学分析、核燃料用金属ウラン中の微量不純物の分析、放射化分析、ガスクロマトグラフィーに関して研究を行われました。1962年に工学博士を取得され、同助教授、1965年同教授に昇任されました。1970年代以降ミクロ高速液体クロマトグラフィーの開発に精力的にご尽力され、国の内外で活躍なさいました。1990年定年退官、名古屋大学名誉教授の称号を受けられ、熊本工業大学教授に就任されました。この間、1979年「ミクロ高速液体クロマトグラフィーの研究」に対し日本分析化学会学会賞、1987年 Tswett Chromatography Medals, 1989年 Supercritical Fluid Chromatography Award, 1990年 Marcel Golay Award の各賞を受賞されました。2000年熊本工業大学定年退職後は、ご自宅にマイクロラボを設営され、研究実験に勤しんでおられました。故人の本会に対するご功績に感謝するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。